



第1459例会 2016. 4. 21(No.1166)/2016. 4. 26 発行
4/19→4/21 企業訪問例会に振り替え(移動例会)
「パン・アキモ」見学 in 西那須野

卓話: (株)パン・アキモ 秋元義彦氏
「被災地から学び・世界へ羽ばたいた救缶鳥」

阪神・淡路大震災の経験から、日持ちが良く、柔らかく美味しいパンの開発を製品化出来ないかと考え、パンの缶詰を思いついて、20年前に開発し特許を取得しました。平成21年には、宇宙飛行士の若田さんのご協力もあり、アキモのパンの缶詰がNASAのスペースシャトルに搭載されました。パンの仕事を通して、少しでも社会にお返しをしたいという思いから、これまで国内外問わず支援をしてきましたが、ボランティアだけでは経営が成り立たないので、平成22年に「救缶鳥プロジェクト」を立ち上げました。



このプロジェクトは、企業や自治体・学校、マンションが震災対策として備蓄している「救缶鳥」に対して、賞味期限は3年だが2年後に再購入してもらい、備蓄している中古品を102円で引き取る制度です。回収したものはNGOを通じて、世界の飢餓に苦しむ人達に届けられています。現地では空き缶も食器として利用されています。先日、熊本の被災地にもいち早く社員が現地に入り、パンの缶詰を被災者の方々に直接手渡すことが

出来ました。いつも被災地に行くときは、強制ではなく、行ける時に行ける人が行くようにしています。多くの社員がボランティア活動に対する理解が深まっていくことが、何よりも嬉しく思っています。これからも無理をせず、出来る範囲で続けてゆきたいです。



パン生地を、紙を敷いた缶に流し込みそのままオープンで焼いて、脱酸素剤を入れてすぐに蓋をするので、中は真空状態。賞味期限最長3年!!

試食させて

頂きました→

↓お店でパンを沢山買いました。



出会いに感謝して

OMIYA CHUO ROTARY CLUB



2015-2016 OMIYA CHUO ROTARY CLUB

副会長:坂 仁規 小沼 岳司

幹 事:町田 宏遠

会報・広報委員長:入江 信仁



創 立:昭和62年3月3日

例会日:毎週火曜日

時 間:18:30~19:30

例会場:大宮サンパレス